

**\* 1958年スワロフ日食の清水実氏の写真—その3—**

アーカイブ新聞第974号に「1958年スワロフ日食の清水実氏の写真—その1—」、第976号に「1958年スワロフ日食の清水実氏の写真—その2—」という記事を書いた。今回はその第3弾である。

アーカイブ新聞第974号、第976号では、スワロフ島に向かう船旅から上陸あたりまでの写真94枚を載せた。今回はスワロフ島での日食の新聞記事、観測の機器類がたくさん写っている写真46枚である。



写真95 鏡のごときラグーン



写真96 おしよろ丸はパゴパゴへ



写真97



写真98 夕暮れ



写真99 居住テント村



写真100



写真 101 くつろぐ加藤さん



写真 102 バナナを食べる清水さん



写真 103



写真 104 読書する清水さん



写真 105 新聞記事「スワロフ島の日食観測陣」



写真 106 新聞記事「日本がとらえたコロナ」

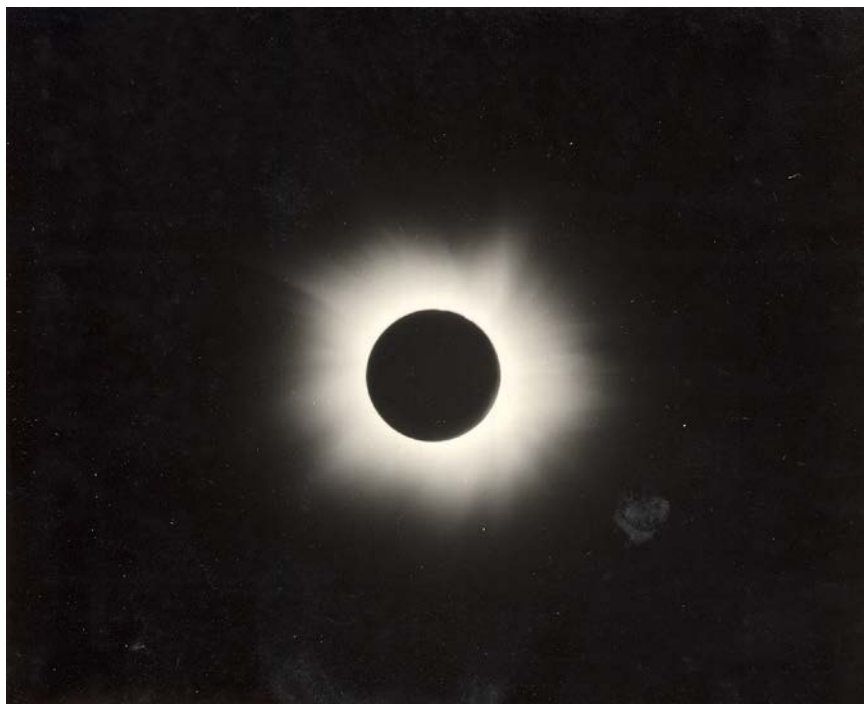


写真 107 美しいコロナ

(1) 12版 (明治25年3月11日第3種郵便物認可・昭和24年2月17日国鉄特別扱承認 新聞紙1号) 享月

# けさスワロフで皆既食

## 準備なり 天候祈る観測陣

【スワロフ】観測陣は日食観測記書四十一日誌「大陽は十一日午前八時五十五分(日本時間十三日午前四時五十五分)から二分四十七秒間赤道以南の太平洋上に黒い影を

天気も十一日午後三時現在の気温は三十二度、よく晴れており十一日朝も晴の公算が大加藤隊長も語っている。なかにはテントやヤシ林の木陰で可憐い「てくてく坊主」をつるし「天気はしておくれ」と祈る観測員もある。

また金環食と違い皆既食は天文学上かけがえのない一瞬なので、東京文台の末元副団長以下七人のメンバーが彩旗、コロナの構造など重要観測テーマに挑むほか、海上保安庁水路部の鈴木係長も三人

日本 太平洋 ハワイ ウェーキ島 ビキニ島 スワロフ島 ニーギニア オーストラリア

なほ短時間の間にコロナの写真撮影、光電管による日食瞬間測定など二人で二つずつのテーマに取り組む。また東北北大天文班のようじ厚と西野のリオフィルスターを使い太陽周辺の内部コロナ、その外部コロナを同時に分離観測、その写真を一枚だけとればいいもの。

いずれにせよ十一日は天体の驚異の一瞬を仰ぐ日。観測員のみならずおしよる丸の藤井船長以下船員、北大生らも一生の記念にとカメラを取り出し、日食の話やわき、静かなヤシ林の夜はふけていった。

写真 108 新聞記事「けさスワロフで皆既食」



写真 109



写真 110



写真 111 観測陣の記念写真



写真 112 シーロスタット、分光器を望む



写真 113 シーロスタット 4連カメラ



写真 114 4連カメラ



写真 115 4連カメラ



写真 116 4連カメラ



写真 117 4連カメラ



写真 118 4連カメラ



写真 119



写真 120 4連カメラ



写真 121 分光器



写真 122 クロノグラフ



写真 123 分光器



写真 124 猛練習



写真 125 16mm カメラ



写真 126 高窪望遠鏡



写真 127 田鍋テント



写真 128 田鍋テント



写真 129 田鍋テント



写真 130



写真 131



写真 132



写真 133 3rd Contact 後



写真 133 成功祝い



写真 134



写真 135 東海岸よりおしよろ丸を望む



写真 136 パパイヤも花



写真 137 タコの木



写真 138 海岸散歩



写真 139 海岸散歩



写真 140 海岸散歩

今回は、スワロフ島での日食観測の機器の様子、観測で得られたコロナ、新聞記事の切り抜きなどの写真を中心載せた。

—つづく—

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)